

巻頭言

この度、本研究会の副代表世話人に就任しました東海ブロックに属する名城大学薬学部の野田幸裕です。大学院修了後約8年間、製薬会社の薬理研究部門にて中枢神経系の薬（特にロナセン）の研究開発に携わっていました。その後、名古屋大学医学部附属病院にて薬剤師として精神科領域、小児科領域、がん疼痛・精神緩和領域に従事しながら、神経精神薬理学的な基礎研究を行っていました。6年前に名城大学薬学部に移り、多くの薬学生が精神科領域の疾患や薬物治療にも興味を向けてくれるように薬学教育を行っています。また、名古屋大学医学部附属病院内に設置されている名城大学サテライトセミナー室に常駐して、現在も「薬を飲ませる」ための患者さんとの関わりではなく、「薬が飲める」ようにするための関わりを大切にして精神科、がん疼痛・精神緩和領域に精神科薬剤師として関わっています。こうした臨床活動とともに神経精神疾患（気分障害や統合失調症など）の基礎・臨床研究も行っております。精神科薬剤師は、患者さん個々の精神症状と使用薬物の特徴を十分に把握するとともに、症状を客観的に評価し、薬物療法における患者さんの疑問や不安の解消や副作用の早期発見に努め、患者さんが積極的に治療に参加できるように促し、患者さんの社会復帰を支援していかねばなりません。また、最先端の専門知識を習得・維持するためにも神経精神薬理学的な臨床・基礎研究も積極的に行う必要があります。精神科薬剤師が更に進化して、新たな臨床業務が展開できるように夢を持って挑戦して頂きたいと思います。代表世話人の吉尾先生、副代表世話人の天正先生はじめ、各ブロックの世話人の先生方と共に、会員の先生方に還元でき、アクティビティの高い研究会になるようにと思っています。どうぞ宜しくお願いします。

副代表世話人 野田 幸裕

2010年度全国処方調査中間報告(調査委員会)

昨年10/31に実施した処方調査では、全国163施設より、総計25,346症例の貴重なデータをご提供頂きました。業務繁多にもかかわらず調査にご協力頂きました先生方、本当にありがとうございました。

【調査背景】 参加施設数：163施設 データ数：25,346症例 平均年齢：57.9歳

【集計結果】

	平均処方剤数	平均投与量	単剤処方率
抗精神病薬	2.0剤	802.8mg(CP換算)	35.2%
抗パーキンソン薬	0.7剤	1.9mg(BP換算)	
抗不安薬・睡眠薬	1.5剤	15.0mg(DAP換算)	

【発表予定】

本年5/19~21(10/26、27へ延期)、東京で開催される第107回日本精神神経学会学術総会において、2演題発表する予定です。今回は、昨年までのデータとの比較による処方動向、並びに第2世代抗精神病薬の併用処方の実態について報告する予定です。

精神科薬剤師ならではの視点から、アドヒアランスの向上を目指した安全で適正な薬物療法を提案したいと思います。今後も引き続き、ご協力をお願いいたします。

東海ブロック世話人 宇野 準二

2010年度下期の活動状況

テーマ：双極性障害における病態・診断・治療

先生方のお名前は敬称略で記載させていただいております。

ブロック	開催地	開催日	特別講演	症例検討	DVD症例検討・ロールプレイ	参加人数	
北海道	札幌	11月 6日	ときわ病院 宮澤 仁朗	ときわ病院 宮澤 仁朗	(司会進行) 香雪病院 林 千尋	46	
東北	盛岡	12月 5日	市立秋田総合病院 内藤 信吾	市立秋田総合病院 内藤 信吾	(司会進行) 笠松病院 谷藤 弘淳	38	
	仙台	11月28日	市立秋田総合病院 内藤 信吾	市立秋田総合病院 内藤 信吾	(司会進行) 青南病院 黒沢 雅広	22	
関東・ 甲信越	東京*	3月27日	東京女子医科大学 東医療センター 山田 和男	江北メンタルクリニック 斎藤 広生	慶應義塾大学病院 磯上 一成	—	
	大宮	2月27日	防衛医科大学校 野村 総一郎	久喜すずのき病院 島田 秀穂	(司会進行) 埼玉精神神経センター 出川 えりか	45	
	千葉	2月 6日	下総精神医療センター 富永 格	下総精神医療センター 富永 格	(司会進行) 聖マリア記念病院 長谷川 毅	24	
東海	名古屋	1月30日	藤田保健衛生大学 内藤 宏	松阪厚生病院 川本 ほづみ	(司会進行) 桶狭間病院 藤田こころケアセンター 宇野 準二	40	
北陸	金沢	3月 6日	厚生連高岡病院 武島 稔	特定医療法人 十全会 岡 敬	公立能登総合病院 東間 正人	46	
近畿	大阪	2月 6日	関西医科大学 片上 哲也	関西医科大学 片上 哲也	(司会進行) 大阪府立急性期・総合医療センター 薬局 宮原 佳希	44	
	京都	2月20日	関西医科大学 片上 哲也	関西医科大学 片上 哲也	(司会進行) 大阪府立急性期・総合医療センター 薬局 宮原 佳希	78	
中国・ 四国	岡山	3月13日	岡山大学病院 和氣 洋介	岡山大学病院 和氣 洋介	(司会進行) 岡山大学病院 北川 航平	26	
	香川	2月 6日	香川大学 中村 祐	香川大学 坂本 成映	(司会進行) 松山記念病院 梅田 賢太	32	
九州	福岡	1月16日	久留米大学 富田 克	九州大学大学院 川崎 弘詔	(司会進行) 八幡厚生病院 柴田 木綿	98	
	宮崎	1月16日	宮崎大学 武田 龍一郎	宮崎大学 武田 龍一郎	宮崎大学 保田 和哉	野崎病院 清田 晃司	30
	沖縄	2月 6日	新垣病院 伊室 伸哉	東邦大学 吉尾 隆	新垣病院 伊室 伸哉	(司会進行) 平安病院 高田 憲一	23

*震災により開催中止

優秀論文賞

PCP研究会による処方調査を元に作成した原著論文「国内における入院中の統合失調症患者の薬物療法に関する処方研究2006.」が第6回「臨床精神薬理」誌賞、優秀論文賞を受賞しました。残念ながら、最優秀論文賞は逃しましたが、臨床精神薬理誌第13巻1号～12号に掲載された、原著論文29編、症例報告21編、総説10編、短報3編の計63編の中から選ばれた、大変名誉ある受賞だと思います。そして、今回の受賞は全ての会員の皆様のご協力のお陰です。今回の受賞の副賞として10万円を頂きました。この副賞はPCP研究会に寄付させていただき、今後の活動に有効利用していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

代表世話人 吉尾 隆



こころ ～人をつなげる、かたちなきもの～

「治療中は自殺しないと約束してもらう事」、教科書が教えます。「約束?身内でもないのに医師というだけで、なぜ約束が必要なの?」と思う患者さん、こころの声です。死を願うガン患者さんに日々奮闘する、心温かい看護師がいました。「死ぬことはいけませんよ、他の人も頑張っていますからね」と言って笑顔で退室した後、病室に一人残された患者さんは思いました。「私は私なりに頑張っている。他の人と比べられて、貴方も頑張って下さいと言われると・・・つらい。特に健康な人からの言葉は」と。

北野病院の宮本直治です。胃ガンによりPCP世話人を引退しましたが、現在がん患者会役員として患者さんの心を感じる場所にいます。深いうつ状態や、余命という人生、地震で被災した人・・・厳しい現実で暮らす人がいます。その人達は、《感じる世界》が違うのです。私達はこころを理解し、おもいを言葉で伝えようとしています。

「こころ」は誰にも見えないけれど、「こころづかい」は見える。「思い」は見えないけれど、「思いやり」は誰にでも見える・・・このフレーズに深いため息が出ます。自分の世界で通用する言葉だけを口に出している事実や、立場の異なる人には使えない言葉があるという謙虚さを、気付かない間に人は落としてきたのかもしれない。私が求めてきた《良い言葉》とは、「己にとって都合のいい言葉」であったことが悔やまれます。

では、異なる世界の壁を超えるものは?・・・同じ言葉であっても平べったく流れる人がいる一方、こころを揺さぶり温かく伝える人もいます。違いは何でしょうか? それは《真実の思い》。話す人の中に《大切な思い》があって、そして聞き手がそれを感じた時に《何か》が輝く。教科書に載っている言葉をただ真似してみても、そこに《思い》はありません。患者さんと話す時、あなたの中に確かな《思い》はありますか?

その確信があるならば・・・言葉を越えた《思いやり》にかえて、患者さんと接してみてください。こころの扉の前に立てる日を目指して!

宮本 直治



PCP世話人の辞任にあたり思うこと

代表世話人の吉尾先生から声をかけていただき、会の発足時から幹事の任を務めさせていただいておりました。身に余る大役で、当初は自分にできるか不安でもありました。東京会場ではいつもたくさんの先生方にいらしていただき、世話人としてとても有難く思っておりました。不慣れな司会進行で、せっかく出席いただいた先生方に迷惑をかけていなかったか、いつも心配な思いを持ちながら講演会を進めていました。

PCPの研修会は、従来の講演会を聞くだけといった内容だけではなく、参加者のディスカッション形式を取っていることも大きな特徴でした。この形式はPCP発足時からこだわってきたことでもありました。参加者全員で勉強して成長することが大切であると考えていました。私自身もPCPで勉強して、PCPで大きく成長させていただいたと思っております。

私を大きく成長させてくれたPCPですが、この度、私事で恐縮ですが、PCPの世話人を辞任させていただくこととなりました。会の発足時から私を支えていただいた吉尾先生はじめ世話人の先生方、ほんとうにありがとうございました。これからは、一会員としてPCPのますますの発展を祈りながらPCPに参加させていただきたいと思っております。

関東・甲信越ブロック世話人 井出 光吉

みんなねっとの報告

お薬相談には、青森(黒沢)、秋田(谷藤)、岩手から各1名ずつ薬剤師が参加しました。今回は薬の種類の多さ、副作用の症状、結婚や出産に対する不安など従来からの相談内容の他に、服用薬が疾患に適切かどうかというセカンドオピニオンとして相談されるケースが増えてきたと感じました。また患者様方がこのような「相談窓口」を望んでおられることを実感した2日間となりました。

岩手県立南光病院 大久保 静恵



義援金

3月11日に発生した東日本大震災では東北地方の多くの方々に甚大な被害があり、多数の死者、行方不明者が出ました。この災害に対して、PCP世話人会では出来るだけの支援を行うことを決定しました。人的支援、物的支援の両面からの支援を行うことが重要ですが、まずは義援金をお送りさせていただくことにしました。会員の皆さまからお預かりした年会費から100万円と優秀論文賞の副賞10万円を義援金とさせていただきました。義援金は日本赤十字社を通じて被災地にお届けしました。事後承諾ですが会員の皆様のご理解を頂けたものとしてご報告させていただきます。

代表世話人 吉尾 隆

2011年度上期ブロック講演会開催(予定)のご案内

テーマ: 抗精神病薬の多剤併用大量処方とその問題点について

ブロック	場所	開催日	会場
北海道	札幌	9月4日(日)	大塚製薬(株) 札幌支店
東北	盛岡	開催延期	—
	仙台	開催延期	—
関東・甲信越	東京	9月11日(日)	秋葉原UDX
	千葉	6月26日(日)	大塚製薬(株) 千葉支店
	大宮	7月24日(日)	マロウドイン大宮 南昌
東海	名古屋	7月3日(日)	ウィンクあいち 愛知県産業労働センター
北陸	金沢	8月7日(日)	石川県地場産業振興センター 本館2F 第1研修室
近畿	大阪	7月31日(日)	梅田スカイビル
	京都	8月21日(日)	メルパルクKYOTO
中国・四国	広島	9月4日(日)	TKP広島シティセンター会議室
	高知	8月7日(日)	高新文化ホール～高知新聞放送会館 東館7F～
九州	福岡	7月24日(日)	福岡国際会議場
	鹿児島	9月4日(日)	未定
	沖縄	7月3日(日)	未定



事務局 掲示板

■2011年度会費(2011年4月～2012年3月分、年会費:2,000円)納入のお願い

年会費はご出席の講演会開催前までにお振り込みください。

【郵便局】口座名:精神科臨床薬学研究会 口座番号:00170-2-578959

※通信欄に、必ずご施設名、お名前、会員番号をご記入ください。

(会員番号は、Newsletterの封筒の宛名シールに記載されています。)

※本Newsletterに同封の振り込み用紙は手数料無料です。

※複数人での振り込みも承っております。

■講演会プログラム

講演会開催日1ヶ月前を目処に各講演会プログラムをホームページ<www.pcp-rg.org>に掲載しております。

■特別講演DVD「双極性障害における病態・診断・治療」貸出中

2010年度下期講演会を欠席された会員の皆様にDVDを貸出しております。希望される方は事務局までご連絡ください。

詳細はホームページ<www.pcp-rg.org>をご覧ください。

【事務局連絡先】

E-mail: contact@pcp-rg.org (メールには必ず、1.施設名、2.氏名を記載して下さい。)

URL: www.pcp-rg.org Fax: 03-6717-1484

【編集後記】

3月11日に発生した東日本大地震は、私たちの地域とそこで暮らす人の心に大きな爪痕を残しました。幸い津波の被害から回避できた私も報道される度にその破壊力に恐怖を感じ、また被災者の皆様に薬剤師として何も出来ない自分の無力さを痛感しました。復興には多くの時間が必要のようです。今からでも自分に出来ることをもう一度考えてみようと思います。

(M.K.)

